

第5号様式(第7条関係)

会議録

会 議 の 名 称	第1回清須市立中学校部活動検討委員会
開 催 日 時	令和8年6月26日(金) 午後3時
開 催 場 所	春日公民館 大会議室
議 題	1 開 会 2 あいさつ 3 委員の紹介 4 議題 (1) 委員長及び副委員長の選出 (2) 国の動向について (3) アンケートの実施について ・アンケートの内容及びスケジュール案について (4) 清須市部活動指導ガイドラインの策定について (5) その他 5 閉 会
会 議 資 料	次第 委員名簿 【資料1】「部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン」の概要 【資料2】アンケート調査(案) 【資料3】R8清須市内中学校部活動改革期暫定ガイドライン 【資料4】清須市立学校の教育職員に関する業務量管理健康確保措置実施計画 【資料5】【2026.03愛知県】部活動の地域展開等の進め方に関するガイドライン《改訂版》
公 開 ・ 非 公 開 の 別 (非公開の場合はその理由)	公開
傍 聴 人 の 数 (公開した場合)	2人
欠 席 委 員	吉住委員、堀部委員
出 席 者 (市)	—
事 務 局	〔教育委員会〕 天埜教育長、大沼教育部長、安井教育部参事、瀬尾教育部次長兼学校教育課長、柴垣生涯学習課長、川村スポーツ課長、齋藤学校給食センター管理事務所長、小崎学校教育課課長補佐兼係長、阿野生涯学習課課長補佐兼係長、炭竈学校教育課係長、葛西生涯学習課係長、田中学校教育課主事
1 開 会 (事務局) 皆さん、こんにちは。本日はご多用の中、第1回清須市立中学校部活動検討委員会へご出	

席くださりありがとうございます。

私は学校教育課長の瀬尾でございます。議題の（１）まで議事の進行をさせていただきますのでよろしくお願いいたします。はじめに、会議資料の確認をさせていただきます。

まず、委員の皆様へ事前に４種類の資料をお配りさせていただきました。１つ目が「アンケートの素案」、２つ目が「Ｒ８清須市内中学校部活動改革期暫定ガイドライン」、３つ目が「清須市立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画」、４つ目が「【愛知県】部活動の地域展開等の進め方に関するガイドライン《改訂版》」です。

次に、本日、机上に配布いたしましたのが、次第、委員名簿、資料１がＡ３版で２枚、資料２のアンケート案の追加提案分としてＡ４版１枚でございます。ここで１点、訂正をお願いいたします。座席表の清須市文化協会会長となっておりますが、副会長の誤りでございますので、訂正をお願いいたします。資料の不足等はございますか。よろしいでしょうか。

次に委員の出席状況についてです。清洲小学校保護者代表の堀部委員、清洲中学校保護者代表の吉住委員におかれましては、ご欠席の連絡をいただいておりますのでご報告いたします。

なお、本日の会議は、清須市附属機関等の会議の公開に関する要綱第２条第１項第２号により、公開会議となっておりますのでご報告いたします。

傍聴人各位におかれましては、同要綱第６条第４項の規定により、お手元に配付しました遵守事項に従っていただきますようお願いいたします。

それでは、ただいまから令和８年度第１回清須市立中学校部活動検討委員会を開会いたします。

２ あいさつ

（事務局）

はじめに天竺教育長より、ご挨拶を申し上げます。

〔天竺教育長挨拶〕

皆様、こんにちは。教育委員会教育長の天竺でございます。委員の皆様におかれましては、ご多用のなか、本委員会にお越しいただきまして誠にありがとうございました。重ねて、日頃より、それぞれのお立場で学校活動に対するご支援、ご協力を賜り、重ねて御礼申し上げます。

さて、本日は今年度第１回目の部活動検討委員会としてお越しをいただきました。今年度から新たをお願いをさせていただきました委員の方もお見えではございますが、昨年度６月にこの本委員会として立ち上がり、３回のご協議を経まして、本日は実質４回目となっております。テーマは「中学校における部活動の今後のあり方について」ということでございます。中学校として考えれば部活動改革、子どもたちが暮らす街として考えれば部活動の地域展開等ということになります。

いずれにせよ大切なことは、いかに子どもたちに主眼をおいて、文化的活動やスポーツ活動を持続可能な形で今後も提供していけるのか、もう少し大きく言えば、これからの教育の姿とは、そういったことにも繋がっていくのかなと思っております。その思いを土台としまして、１歩１歩ではありますが、本市としても動き始めました。本市ならではの今後の展開につきまして整理をして参りたいと考えております。どうぞ皆様の様々な視点からのご意見を賜りたいと思っております。

少し長くて恐縮ですが、昨年度の第３回でも申し上げましたが、教員の業務量管理という点でございます。社会的に避けては通れない課題である働き方改革という観点で、これまでにない明確な指針で国や県から示され、それに応えていく義務が各学校や教育委員会にも求められて参りました。本市としましても、この４月から教育職員の業務量管理、健康確保組織実施計画が策定、運用開始となっております。その目標、目的、計画に沿った取り組みを現在、進めておるところでございます。

事務局、各中学校現場におきましても、当然ながら部活動が今まで担っていた教育的な意義や価値はもう十分承知をしておりますが、子どもたち、それから学校、ご家庭、地域のそ

それぞれの思い、ニーズにできる限り丁寧に答えていきながら、この転換期を一緒になって進んで参りたいと思っております。

本日もどうぞご示唆、ご意見等いただければと思います。よろしくお願いいたします。

3 委員の紹介

(事務局)

続きまして「3 委員の紹介」に入ります。委員の紹介につきましては、配付資料の委員名簿にてご紹介にかえさせていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

4 議題

(1) 委員長及び副委員長の選出

(事務局)

それでは、次第の「4 議題」に入ります。

「(1) 委員長及び副委員長の選出」です。資料1の「清須市立中学校部活動検討委員会設置要綱」をご覧ください。第5条に「委員会に委員長及び副委員長1人を置く」と規定されており、第5条の第2項に「委員長は、委員の互選により定める」とあります。これに基づき委員長を選出したいと思っております。それでは、どなたか委員長の推薦をお願いいたします。

(俣溝委員)

春日小学校の俣溝です。委員長には、昨年度に引き続き春日中学校の三嶋校長先生を推薦します。どうぞよろしくお願いいたします。

(事務局)

ありがとうございました。他に推薦はございますか。

ないようですので、春日中学校の三嶋校長先生の委員長選出をお認めいただける方の挙手を求めます。

〈賛成の方の挙手あり〉

ありがとうございました。賛成多数を確認いたしましたので、委員長を春日中学校の三嶋校長先生をお願いいたします。三嶋委員長、席の移動をお願いいたします。

〈三嶋委員長、委員席へ移動〉

副委員長につきましては、先ほどの委員会設置要綱第5条第2項の規定により「委員のうちから委員長が指名する」ことになっておりますので、三嶋委員長、ご就任のご挨拶と副委員長の指名をお願いいたします。

(委員長)

ただいま、ご推挙をいただきました春日中学校長の三嶋と申します。よろしくお願いいたします。これからも清須市の子どもたちのために、皆さんと一緒に知恵を出し合いたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは副委員長の指名に移ります。昨年度の引き続き、西枇杷島小学校保護者代表の稲垣委員をお願いしたいと思います。稲垣委員、よろしいでしょうか。

(稲垣委員)

はい。

(事務局)

それでは副会長には西枇杷島小学校保護者代表の稲垣委員をお願いします。席のご移動をお願いします。

〈稲垣副委員長、副委員席へ移動〉

この後の議事進行につきましては、委員会設置要綱第5条第3項の規定により、委員長が

議長となりますので、以降の進行についてよろしくお願いいたします。

(2) 国の動向について

(委員長)

それでは「(2) 国の動向について」を議題といたします。事務局より説明をお願いします。

(事務局)

資料1より国の動向について説明。

(委員長)

ただいま事務局より説明がありました。何かご意見のある委員の方は、挙手をお願いします。

よろしいでしょうか。

それでは、議題「(2) 国の動向について」を終わります。

(3) アンケートの実施について

(委員長)

続きまして「(3) アンケートの実施について」を議題とします。事務局より説明をお願いします。

(事務局)

資料2よりアンケートの実施について説明。

(委員長)

ただいま事務局より説明がありました。委員の皆様の中で、ご質問・ご意見等をお伺いしたいと思います。黒田委員、お願いします。

(黒田委員)

きよすスポーツクラブの黒田と申します。3点あります。

まず、去年のアンケートと今回2回目となるアンケートの違いを教えてください。次に、こういう意図で2回目をするということ。それから、これをどう結論付けるかを知りたいです。アンケートは大体のねらいをもってするものだと思いますが、どういう意図でアンケートをするのか、1回目と2回目の意図の違い、最終的にはこれをどう使っていくかを教えてください。以上です。

(委員長)

事務局、お願いします。

(事務局)

1回目のアンケートでは明確な目標がありませんでしたが、今回のアンケートでは、もう少し具体的にどの方向に向かっていくのかを把握するために実施することになりました。

特に、子どもたちが自分の余暇時間に何をしたいのかを、より具体的に尋ねています。

また、保護者の方は、子どもにどのような活動をさせたいのか、地域展開を行った場合にどのような不安があるのかなど、休日の部活動を学校から切り離れた形で意見を聞く内容となっています。以上です。

(委員長)

他にご質問やご意見はございませんか。はい、福田委員。

(福田委員)

今年から入りました体育協会の福田と申します。よろしくお願いいたします。

小学生高学年用アンケートについてですが、一番に「中学に進学したら部活をしたいですか」という質問を入れたほうがよいのではないかと思います。もし部活をしたくない子どもが8割いるとすれば、残りの2割の子どものために考えることが大前提になってくると思いますので、まずは部活をしたいかを把握することが大事ではないかと考えます。以上です。

(委員長)

ありがとうございます。その他にご意見やご質問はございませんか。はい、黒田委員。

(黒田委員)

先ほど学校から切り離すというお話がありましたけど、それも1つのねらいなのですか。切り離していいのですか。

(事務局)

国の方針としましては原則、部活動を地域展開していくという方針を持っていますので、その方針に沿って清須市も考えております。以上です。

(黒田委員)

協力はしないといけませんが、敢えて切り離すのはどうかと思います。私は教員をしています。教員のアンケートはどのような意図で行われているのでしょうか。前回のアンケートとほとんど同じ内容なののでしょうか。

(事務局)

内容的には大きくは変わっていませんが、問8や問9は少し変わっております。

(委員長)

よろしいですか。はい、お願いします。

(藤島委員)

新川小学校保護者代表の藤島です。小学生高学年用アンケートについてですが、高学年の児童が問6や問7を回答できるか疑問に思いました。新川小学校では、現在の6年生は部活動を経験しているものの、5年生は学校での部活動について十分に理解していない状況だと思いますので、このアンケートを見せても戸惑いがあるのではないかと思います。以上です。

(委員長)

ありがとうございます。参考にさせていただきます。

その他にご意見やご質問がございましたらお願いします。星野委員、お願いします。

(星野委員)

清洲中学校保護者代表の星野です。質問が2点あります。

1点目は、アンケートの中で複数回答可と明記されていない設問で、複数回答したいと思う設問がいくつかあるように感じます。そういった設問については、複数回答可と明示していただいた方が答えやすいと思います。

2点目は、小学生・中学生向けの質問で「学校の部活動以外に、地域のクラブチームや少年団、習い事などに参加していますか」という質問がありますが、クラブチームや少年団より、習い事をしている子どもの方が多いのではないかと考えます。現状の回答例は部活動に寄せた内容で吹奏楽やソフトテニス等がありますが、ダンスやスイミング、ピアノなどを選

択肢に加えると、その他にたくさん書き込む手間が減り、子どもたちも答えやすくなると思います。以上です。

(委員長)

ありがとうございます。参考にさせていただきます。奈良間委員、お願いします。

(奈良間委員)

西枇杷島中学校保護者代表の奈良間と申します。先ほど黒田委員からご指摘があった通り、アンケートを取る目的をはっきりさせた方がよいと思います。ほとんど同じ内容であれば、そもそも取る必要がない可能性もあります。何かこういったことを知りたいから取るのであればよいと思いますし、皆さんの声を聞きたいという気持ちもわからなくもないですが、取ることを前提にした場合、気になっている点が2点あります。

1点目は、小学生高学年用アンケートの間6と間7についてです。どちらの回答も1から8まで同じ選択肢になっており、質問内容も間6が「地域の活動をやっていく場合の意見や質問があれば記入してください」、間7が「どんなことに期待しますか」という類似した内容に思います。間6の「質問があれば」という部分は、間9に自由記述欄があるので、間6はなくてもよいのではないかと思います。一方、中学生用アンケートの間8では、1つにまとめられているので、ここら辺の整合性がとれていないのが気になります。なので、小学生高学年用の間6は削除してもよいのではないかと思います。

2点目は、保護者用アンケートの間7についてです。私が保護者であれば、場所によって車で送迎するのか、自転車で行ける距離なのかで対応が変わると思います。そのため「どのように移動しますか」という問いよりも、「どのような移動手段が理想と考えられますか」という問いに変えた方がよいのかなと感じました。以上です。

(委員長)

ありがとうございます。その他よろしいでしょうか。はい、黒田委員。

(黒田委員)

先ほども質問がありましたが、小学生用アンケートについて回答できるのか疑問に思います。小学生の間6や間8で「休日の中学校部活動が地域の活動になる場合、不安に思うことはありますか」や「意見や質問があれば」といった設問がありますが、地域の活動がどういうことなのか、保護者や教員も含めて理解が十分とはいえない状況で、回答者の立場で考えたアンケート内容になっているか、再度、検討が必要ではないでしょうか。アンケートの目的や意図をしっかりと整理し、1回目からどう変わったのか、今回何を聞きたいのかを明確にしたうえで、わかりやすい言葉や項目、選択肢を用意してはどうでしょうか。以上です。

(委員長)

事務局、お願いします。

(事務局)

ありがとうございます。今後、検討する材料にしていきたいと思います。わかりやすい設問、何を求めていくかというのは大事なところになってきますので、黒田委員がおっしゃる通りだと思っております。以上でございます。

(委員長)

その他よろしいでしょうか。現役の先生方、教員のアンケートなど何かご質問やご意見はございませんでしょうか。

(黒田委員)

現役ではないですけど、先ほど言い忘れましたが、教員用アンケートの問3で、本当にその先生ご自身の部活動経験かどうか分からないこともありますので、質問の仕方を少し考えていただきたいと思います。

また、部活動の顧問をしたいですかという聞き方はどうかと思いました。したいか、したくないかではなくて、先生によってその部活の意味合いがあると思います。

それから、問7についてです。この資料を配っていますか。配っていないのに把握していますかと聞かれても、答えにくいのではないかと思います。

(事務局)

こちらは学校の先生方が情報として把握しているかどうかを問う設問なので、配布は特にしておりません。そのため、知っていますか、知らないですかという問いになっています。

(黒田委員)

わかりました。教員の立場から言うと、単にしたいですか、希望しますかということではない気がします。先ほどの話ではありませんが、先生たちが午後の活動をしたいという気持ちももう少しアンケートに反映させるべきかと思います。かつての部活のあり方と比べて、今の若い方がどう考えているのかも含め、質問項目を工夫したほうがよいのかなと思います。以上です。

(事務局)

黒田委員がおっしゃった、若い方がどう考えているかは私どももわからないので、率直にお聞きしたいと思っております。

(黒田委員)

行政はそれでよいかもしれませんが、若いから知らないままでよいのかと思います。

(事務局)

黒田委員、ありがとうございます。それらも含めて検討していきたいと思います。

(委員長)

その他よろしいでしょうか。

(奈良間委員)

アンケートを取ることを前提に考えた場合、多くの保護者は部活動の話になると地域展開という言葉はなんとなく浸透していますが、部活がなくなるのではないかと感じていると思います。平日は学校での活動、土日は地域展開での活動ということをわかりやすく伝えたいのでアンケートを取れば、より正確なデータが取れるのではないかと考えます。以上です。

(事務局)

地域展開について丁寧に説明していきたいと思います。ありがとうございました。

(委員長)

その他よろしいでしょうか。

(事務局)

スケジュール案ですが、今回アンケート内容の意見をいただき、事務局で練り直し、8月から9月頃にアンケートを実施したいと考えております。以上です。

(委員長)

それでは、この案のとおり進めていくことにご了承いただけたということでよろしいでしょうか。

〈異議なしの声あり〉

ありがとうございます。今後も検討を続けていきながら、事務局案で進めてまいりたいと思います。

(4) 清須市部活動指導ガイドラインの策定について

(委員長)

続きまして「(4) 清須市部活動指導ガイドライン策定について」を議題とします。
それでは、事務局より説明をお願いします。

(事務局)

資料3、4、5より本市における部活動指導ガイドライン策定の必要性を説明。

最後に、本市ガイドライン2ページ「2 適切な部活動の運営と指導」の「エ 参加する大会・コンクールについて」の内容につきまして、現時点での状況等を踏まえた校長会での検討結果をご報告いただきたいと思います。

(委員長)

ただいま事務局から依頼がありましたので、鹿島委員、お願いいたします。

(鹿島委員)

清洲中学校の鹿島と申します。令和9年度以降の中学校部活動における大会参加について、清須市教育委員会と情報共有をしながら、清須市小中学校長会で協議した内容をご報告させていただきます。少し長くなりますがご容赦ください。着座にて失礼します。

まず、確認として現在、中学校運動部は夏の大会と呼ばれる中体連主催の西春日井支所大会を最終目標としており、それに加えて秋の新人戦、春の大会の3つの大きな大会がございます。

ただし、春及び秋の大会については、実際には中体連が主催しているものではなく、各種スポーツ登録団体連盟が主催する上位大会の予選を兼ねた、いわば練習の延長戦的な位置づけの大会となっております。今回の競技に関しましては、これら3つの大会への中学校としての参加方針やあり方について、校長会にて様々な観点から議論を重ねてまいりました。約3ヶ月間にわたる協議・検討の結果について、ご報告申し上げます。

来年度、令和9年度からは春の大会には参加しないこととし、秋の大会については令和10年度、または令和11年度から参加しないという結論に至りました。その主な理由は以下の3点です。

1点目は、春の大会の日程が学校運営や学級経営、強化指導など教育活動に及ぼす影響が大きいことです。春の大会は新年度開始直後に行われるため、特に新しく配属された職員にとって準備が十分に整わないまま大会に参加することになります。これにより教員の負担が増大し、教育活動全般に支障をきたす恐れがあります。

新年度が始まると、すべての職員が学級経営や強化指導の準備に取り組む一方で、部活動の指導も並行して行っています。そのため、特に4月、5月の時間外在校時間が増加してしまいます。これまでも春の大会や秋の新人戦といった大会に参加してきましたが、大会に参加するだけでなく、試合を成立させるための基礎基本の指導やチームプレイ、ルール確認など、多くの指導時間が必要です。

その結果、教員は相当な疲労を抱えながら、日々の学校業務と大会運営を両立する状況にありました。このまま大会参加を続けることは、教員のワークライフバランスの崩壊を招き、本来の教育活動である学校運営や学級経営、学習指導に深刻な支障をきたす恐れがあります。このような状況は、結果的に子どもたちのためにならないと考えます。また、校長として教職員の健康を守り、安全配慮義務を負っている立場からも、現在のままの大会参加体制

には改善が必要であると判断いたしました。

2点目は、業務量管理及び教職員の健康確保に関わる厳格な指針の遵守についてです。清須市立学校における教職員の業務量管理・健康確保措置実施計画では、令和11年度までに1ヶ月の時間外在校時間が45時間以下の教職員の割合を100%にすることが掲げられています。しかし、現在の暫定ガイドラインに基づく部活動の運営体制のままでは、この目標の達成は困難であると考えられます。教職員の負担軽減及び健康管理の観点から、この計画目標を達成するためには、これまでの運営方法を見直し、新たな取り組みや体制の構築に踏み出す必要があると考えました。

3つ目の大きな理由として、同じ大会を運営している隣接の北名古屋市が、同様の理由から早々に来年度、令和9年度からの春の大会への参加を見合わせる決定をしております。そのため、大会運営に必要な人員や会場の確保が難しくなることが懸念されます。

また、北名古屋市は令和10年度または令和11年度から秋の新人戦への参加も見合わせる方針を表明しております。春の大会と同様に、運営面の課題や教職員の働き方を踏まえ、清須市としても令和10年度または令和11年度から新人戦への参加を見合わせることにいたしました。これまで顧問の先生方の負担やボランティア的な運営環境の中で続けてきた春の大会、秋の大会については、このような結論に至りましたが、日常の部活動自体は引き続き、子どもたちにとって打ち込みがいがあり、仲間と共に思い出に残る汗を流せる活動ができるよう努めてまいります。

最後に、この件につきましては1学期中に各ご家庭へ周知いたします。今後ともご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

(委員長)

ただいま事務局から、ガイドライン策定についての説明と校長会から次年度の大会参加についての報告がありました。委員の皆様の中で、ご質問・ご意見等をお伺いしたいと思います。山田委員、お願いします。

(山田委員)

古城小学校の山田です。皆さんご存じの通り、昨年度をもって小学校の部活動は廃止となったことで、これまで以上に本来の業務に注力できるようになっています。しかし、年度初めの4月や5月は、どうしても時間外在校時間が多くなってしまう現状があります。

一方で、中学校においては部活動に取り組みつつ、最近も2泊3日の修学旅行があり、その準備や野外学習、定期テストの作成等、多くの業務を抱えていると思います。2学期に入れば体育大会や文化祭もありますし、中学3年生に関しては進路指導が本格的に開始され、一人ひとりに寄り添い、真剣に進路を検討しながら対応していく必要があります。

働き方改革という言葉が長く掲げられているにも関わらず、土日に大会があると時間外勤務が7～8時間を超える場合があり、教員の負担は依然として大きい状況にあります。

先ほどの報告の中にもありましたが、疲労を抱えた教員が現場にいることが続けば、学校の運営を守る観点からも懸念する状況になっていると思いますので、大会参加の縮小は、教員が子どもたちに真摯に向き合い、疲労せずに全力で取り組める環境を整えるために意義があると考えます。以上です。

(委員長)

ありがとうございました。その他にご質問やご意見ございますか。西尾委員、お願いします。

(西尾委員)

ただいま事務局の方と鹿島委員からご意見がありましたので、私の思いを述べさせていただきます。今年度、部活動が毎週土日できていたものが月2回になってしまいました。教員は子どもに主眼を置く立場であり、子どもたちが十分に文化活動や体育的活動を行っていかねければなりません。それを補うのが地域クラブの役割です。地域クラブの充実には学校だけ

ではできませんし、市だけでもできませんので、市と学校が連携を取り、校長会としても力を入れ、早急に地域展開を整備し、子どもたちが十分に活動できる環境を作っていきたいと思います。また、教員の中には部活動をしたいという者もいますので、教職員が兼職兼業できるような体制も整えていただきたいと思います。

次に、鹿島委員の意見についてですが、私も中学校で長年部活動に携わってきました。今は校長として、子どもたちが部活動を楽しんでいる姿を間近で見えています。そのため、春の大会への参加をやめることについては残念であり、断腸の思いであります。

校長会では大会参加に伴うメリット・デメリット、不参加によるメリット・デメリットを検討してきました。今回、校長会の決定の背景には、全国的な課題である教員の時間外勤務の課題があります。この課題解決には、部活動のあり方の見直しが必要だと思います。

県内の他の自治体の実態を調査したところ、名古屋市では既に土曜日は学校としての部活動が行われていません。また、隣の稲沢市をはじめ、犬山市、江南市、東郷町では今年度2学期から教員による日曜日の部活動は実施されていません。弥富市は来年度から、あま市、津島市、愛西市は再来年度から教員による日曜日の部活動を実施しません。一宮市は来年度から、夏の大会への参加しないことを決定しています。こうした自治体の状況を踏まえると、大会参加の縮小は避けては通れないと考えています。以上です。

(委員長)

ありがとうございます。その他にご意見ありますでしょうか。はい、早川委員。

(早川委員)

新川中学校保護者代表の早川です。保護者の立場から申し上げますと、先生方の働き方改革による負担軽減や、部活動の大会などの大きな流れについて、異論はありません。

ただ、先ほど地域展開の話題が出ましたが、今年から部活動が平日も土日も減少し、今後、大会もなくなることは承知してはいますが、地域クラブという受け皿がまだ十分に整備されていない段階で、部活動の縮小ばかりが急速に進んでいる印象を強く受けました。

先ほどの話にもありましたが、アンケートを取って部活動をやりたくない子が8割いれば仕方ないですが、実際に部活動を間近で見ている限り、そうではないと思います。その中で大会や部活動の減少が続くと、子どもたちの気持ちが置き去りにされる懸念があります。先生方の働き方改革を進めるのであれば、地域活動の受け皿の整備を同時に早急に進めるべきだと感じています。以上、保護者としての意見です。

(委員長)

ありがとうございます。他に何かご意見や質問があればお願いします。

(佐橋委員)

私は担当しているのは高校ですが、先生方の多忙さはよく理解しております。顧問の先生方が忙しい場合は、大会に関する業務を私が全面的に引き受けております。私は子どもたちが活動に参加することに大きな意義を感じており、子どもたちも協力的です。小・中学校とは状況が異なりますが、私は外部指導者として学校の教職員ではないため、業務の負担はなく時間的な余裕があります。そのため、このような形で支援させていただいております。

(委員長)

ありがとうございます。他によろしいでしょうか。はい、藤島委員。

(藤島委員)

保護者の意見として失礼します。中学1年生の息子が、部活の時間がなくなると、自宅でスマートフォンを使う時間が増え、その都度親から注意を受けるため、息抜きやストレス発散の場を失っていると感じています。自由な時間が増えること自体は悪いことではないです

が、その時間をどう過ごすかで別の心配事も生じています。学校の友だちや先輩と交流できる場所が確保されること、もし学校での見守りが難しいのであれば、子どもたちが自分たちで練習や活動ができる環境を整えてほしいと思います。

(委員長)

ありがとうございます。では、お願いいたします。

(福田委員)

私は今回から参加させていただきましたが、私は27年間、スポーツ少年団でサッカーに携わり、愛知県のサッカー協会にも所属し、タイムリーに中学校の部活動移行について取り組んでいます。各市町の状況を見ると、1つの中学校で顧問の確保が難しくなっている現状があります。清須市内の4中学校を例に挙げると、サッカーを希望する生徒は清洲中学校に、野球を希望する生徒は新川中学校に集まると顧問の先生の数も減らせます。

また、中学校の先生で部活動を担当するために教員になった方や、教えるために教員になった方がいることは私も承知しています。そのような中で縮小するのは簡単ですが、部活動を続ける道も残し、顧問の先生方と協議をしながら、技術指導や不足する部分については地域の体育協会の手を上げた者がフォローしていく形も可能だと思います。予算面の課題もあるかと思いますが、地域で協力して進めるのは1つの方法ではないかと考えています。

実例として西尾市では、地域総合型スポーツクラブにおいて、サッカー部は5つの中学校が1つの学校にまとまり、平日2回、土日も含めて自転車などで移動して部活動を行う体制を整えています。

部活動には良い面もあれば課題もあります。技術を高めたい生徒は既に地域スポーツクラブに参加している場合もありますが、経済的理由や移動手段の問題で参加できない生徒もいます。部活を通じて競技をやりたい生徒たちは多くいると思います。

先ほども保護者の意見にもありましたように、受け皿を確保し、競技では約10種目から8種目程度に絞るなど指導の質を高めたりするなど、先生方の意見を伺いながら、地域との連携を進めていきたいと思います。以上です。

(委員長)

ありがとうございます。その他よろしいでしょうか。大鹿委員、お願いします。

(大鹿委員)

西枇杷島中学校の大鹿と申します。指導に携わる立場から、部活動が中学生にとって非常に重要な役割を果たしていると実感しております。大会をなくすことについては、地域移行が進む中で外部指導者の参加や大会出場の機会は確保される形で継続していただきたいと考えます。私の経験からも、大会を通じて子どもたちの成長が著しく見られます。そうした機会が減ることで、活動が漠然としたものとなり、生徒の意欲低下につながるのではないかと懸念しています。

また、今年度から学年主任を務めておりますが、特に4月は多忙でしたが、春・秋大会を不参加とすることで、どの程度在校時間を減らせるのかと思います。

私に関わる競技においては、春の大会は夏の大会のシード権を兼ねる重要な大会であり、もし春大会を西春日井地区として不参加とすると、夏の大会のシード権を失い、年によって出場校が変わりますが、2校出られる年は優勝候補校同士が初戦で対戦する可能性も出てきます。これにより子どもたちのモチベーションが下がらないか心配です。

また、教員として愛知県のバレーボール強化活動にも関わっており、中学生の部活動の場が減少することは、将来の才能を埋もれさせないか心配に思うこともあります。こうした観点も含めて、十分にご検討いただければと思います。以上です。

(委員長)

ご意見ありがとうございます。その他にございますか。

(俣溝委員)

春日小学校の俣溝です。春・秋の大会を順になくしていくなかで、地域の指導者が子どもたちをまとめて試合に参加させていただくことは理想的だと思います。しかし、現状ではすべて教員が運営している大会であり、北名古屋市が大会辞退を表明していることは大きな影響があります。西春日井地区には11校あり、これまでは全校で要綱作成や組み合わせ抽選、駐車場管理、審判などの役割を分担しながら大会を運営してきましたが、北名古屋市の6校が参加しないことで、運営面の人手不足となることが現実であります。

子どもたちだけを連れて大会に参加する形が理想ですが、運営に関わる厳しい現実があると思います。試合の緊張感や成長の場としては、よく理解しております。将来的には地域として参加できる形が望ましいと思います。以上です。

(委員長)

ありがとうございます。副委員長、お願いします。

(副委員長)

先生方の負担について、よく伝わってきましたので、先生方がどのような働き方を望んでいるのか、アンケートの記述式で構わないので書いてもらいたいと考えています。強制ではありませんが、保護者も先生方の働き方について知りたいと思っています。現状、多くの保護者や子どもたちは、部活動がなくなるのか分からない状況で、地域展開の意味や目的も理解できないまま話が進んでいます。そのように言われれば、仕方なく納得せざるをえないですし、先生の働き方改革と言われればそれまでですが、部活動に真剣に取り組む子どもたちを間近で見ている身としては、置き去りにしないでほしいです。

もし部活動を縮小するのであれば、まずは受け皿となる地域クラブなどの環境整備を十分に整えてから進めてほしいです。先に廃止されると子どもたちがやりたいことができなくなり、特に、小学生の保護者は現状や今後の見通しが分からず、置き去りにされているように感じています。なので、きちんとした説明や情報提供を行ってほしいと思います。

私の息子は小学生のときは内向的でおとなしい子でしたが、部活動を始めてから積極的にになりました。部活動の回数が減ったことで心にゆとりが生まれ、勉強の計画も立てやすくなり、精神的に安定しているように感じます。

部活動の減少には良い面もあると実感しています。部活動を減らすのであれば、地域クラブを十分に整えてから実施してほしいです。地域クラブは大会へ参加する機会や実力向上、刺激を受ける場にもなっています。学校の部活動と地域クラブを上手に活用し、バランスよく子どもたちの成長を支えていける仕組みづくりができればと思います。

(委員長)

ありがとうございます。田口委員、お願いします。

(田口委員)

新川中学校の田口と申します。私も中学校の部活動に20年ほど携わってきて、複雑な思いがありますが、校長として職員の業務量を管理する立場でもありますので、少しだけお話させていただきます。座って失礼します。

先ほどの話にもありましたが、春の大会や将来的には秋の大会への参加を見送ることについては、非常に残念に感じています。一方で、学力向上や不登校生徒への家庭訪問などの教育活動にもっと時間を割きたいと考えている先生方も多くいます。現状ではそれが難しいのが実情です。部活動指導を行うことで、教師は時間にゆとりがないというところを私も感じているところであります。

私たち教師つきましては、当たり前ですけれども、学校生活において授業を通して、精神

ともに健やかな成長を支えるとともに、子どもの学力を保障することであると思います。そういった意味でも、新しい部活動の形で、春・秋の大会に参加しないことで、生み出された時間を目の前に子どもたちのための時間に費やせるのではないかと考えております。保護者の皆様からは受け皿がないとのご意見もごもっともですが、現状を見ていますと、心にゆとりがない先生方も少なくないと感じております。以上です。

(委員長)

その他にご意見等はございませんか。

様々なご意見をいただき、ありがとうございました。今後も地域展開について、市や教職員の皆様と共に意見を出し合いながら、子どもたちにとってより良い形を考えてまいりたいと思います。それでは議題「(4) ガイドライン策定について」を終わります。

(5) その他

(委員長)

最後に「その他」に入りますが、何かご意見ご質問はございますか。

特にないようですので、これで本日の協議事項は終了といたします。

議事進行に際し、委員の皆様のご協力に感謝申し上げ、事務局へお返しいたします。

(事務局)

三嶋委員長、ありがとうございました。

次回、第2回清須市立中学校部活動検討委員会は9月下旬頃の開催を予定しております。

開催案内は、また改めてご通知申し上げます。1ヶ月前には、お手元に届くよう送付いたしますのでよろしくお願いいたします。

それでは以上をもちまして、「第1回清須市立中学校部活動検討委員会」を閉会いたします。お氣をつけてお帰りください。

問 い 合 わ せ 先

学校教育課

電話 052-400-2911